

県議会9月定例会開会



2013年9月29日
-52号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

県議会9月定例会が9月18日開会されました。

9月定例会の会期は10月8日までで、一般会計補正予算をはじめとして諮問案件を含む28件が提出されました。

一般会計補正予算の内容について、4点が説明されました。

「県民の安全安心の確保」
（7月の豪雨に対応した災害復旧事業、消防防災ヘリコプターの更新等）

「地域資源を活用した観光交流の拡大」
「子育て支援・人づくりの充実」（保育所入所待機児童ゼロ実現に向けた受け入れ枠拡大のための取組支援、風疹予防接種への支援等）

「再生可能エネルギー等の導入促進」（木質バイオマスエネルギー利活用施設整備に対する支援、中小企業の省エネ設備等導入に対する支援など）

一般会計補正予算総額は

76億2200万円となっています。

また、新たな提出請願は6件となっており、そのうち4件（オスプレイの配備と訓練中止を求める請願、TPP交渉についての情報提供と撤退を求める請願、私学助成の充実を国と県に求める内容の2件の請願）について紹介議員となりま

＊9月は来年度の県政運営につながる議会であり、参院選後の国政の動向ともあ

いまって重要な時期に開催されます。県民のみさんの声をより多く反映できるように力を尽くしていきたいと思ひます。

写真 9月20日 吉村知事と懇談する紙智子参院議員



ゆり子の視点

消費税増税に女性の怒り

安倍政権が4月かばかり、ウソツキ。つげ。

消費増税増税を何と収入が増えないのに消費増税だけではあられません。「庶民の声をしても進めよう」とし増税されたら困る。りません。TPP、聞け！消費増税増税中ています。これに対「大企業の復興法人税 原発、憲法など議論 止を」の声をともにして、特に家計をあはやめるんだと。庶しなければならぬ広げましょ。

ずかる女性たちの怒民には押しつけてお課題は山積のはずでりの声が聞かれます。きながら「などかな。自民党が多数を「社会保障にあてるか鋭い。国会は何しとったからといって言ったけど年金もてるんだ。いつ開勝手に進めていいは介護も負担が増えるくんだ」の声が極めずありません。来月やと国会が開か

紙智子参院議員が吉村知事と懇談

9月20日、紙智子参院議員が消費税増税やTPP問題等で県内農協と懇談しました。県庁では、吉村知事を訪問し、私と本間県委員長も同席しました。互いの北海道と山形県の農産物の話題で話が弾みました。

日本共産党として「4月からの消費税増税は中止を」の一点で協同を呼びかけていることを紹介したのに対し、吉村知事は「県内では景気がよくなったとの声は聞かれない、電気料金が引き上げられ、消費税が増税されたらダブルパンチ。手だてを講じないままでは影響が大きい。地方の声を聞いてほしい」と懸念を表明しました。

当日夜には、日本共産党山形市委員会と後援会の主催の紙議員を囲む集いが開か



後援会員のみなさんと記念写真をとる紙議員

かれ、今後の国政を展望した報告が行われました。

山形市内の中学校でバレーボール部の顧問が部員同士を平手打ちさせていたことが明らかになった件について体罰根絶の姿勢を示し、全教職員の方で進めてほしいと要請したものです。対応した村上幸太郎教育次長、大池清人義務教育課長補佐らは、「ガイドラインを作成したところで、言葉の暴力を含め体罰のない学校づくりに取り組んでいく」と述べました。

新日本婦人の会が教育委員会に要請

学校から体罰根絶を

9月4日、新日本婦人の会山形県本部が、県教育委員会に対して体罰をなくし、子どもの命と人権を大切にすることを求める要請を行い、私も同席しました。



申し入れをする新日本婦人の会の皆さん